



# 新年のごあいさつ

湯河原町長

富田 幸宏

新年おめでとうございます。

皆様におかれましては、新春を健やかにご迎えることとお慶び申し上げます。

私が湯河原町長に就任してから2年8か月が過ぎ、3回目の新年を迎えることとなりました。4年の任期も既に残り1年4か月。残された課題の達成に向け、更にスピードアップし、精力的に取り組んでまいりたいと、決意を新たにしているところでございます。

さて、昨年を振り返った時に、まず思い浮かぶ出来事は、湯河原中学校の移転が無事完了し、耐震性のある校舎で授業を開始することができたことでございます。移転に際しては、正直、不安もございましたが、その後、生徒の皆さんが、落ち着いた学校生活を送っているとの報告を受け、安心しているところでございます。これも、多くの方々のご理解とご協力があったからこそであり、深く感謝しております。

また、旧湯河原中学校の跡地は、町にとって、後世に引き継いでいく貴重な財産でございます。しっかりと管理し、有効に利用できるよう、様々な方面から検討してまいります。

最優先の課題として取り組みました「行財政改革」「財政再建」の6項目の施策につきましては、当初の内容の一部に見直しを加えたものの、職員数の10%削減も既に達成し、職員の地域手当の支給廃止も今年の4月の実施が決定しておりますので、任期を1年以上残し実施することができました。

「ゆがわら元気回復プラン」として掲げさせていただいた、5項目の施策につきましては、全ての課題について着手しておりますが、検討または調査の段階にあり、未だ実施に至っていないものについては、早急の実施できるよう取り組んでまいります。

分庁舎に設置しております子育てサロンやたんぽぽ作業所等の拡充を行い、分庁舎を地域福祉の拠点として利活用し、また、桜木公園を会場にはじめた公園体操を、各地区の老人クラブに広げて行くなど、

より一層の福祉の充実を図ってまいります。

産業の振興では、表玄関である湯河原駅前広場の再整備に向け、計画の策定に着手しております。

近隣の観光地と連携したエリアを「観光圏」として整備し、広域的に観光施策を展開しようといった動きも活発になってきておりますので、近隣の市町と協力し地域の活性化を図ってまいります。

また、神奈川県が、観光振興条例を制定いたしました。本町におきましても、湯河原にふさわしい観光立町条例の制定に、取り組んでまいりたいと考えております。

このほかにも、商工会が中心となって取り組んでいる「担々やきそば」の普及・PR活動、プレミアム商品券「湯河原温泉地域商品券」の発行を応援してまいります。

また、「箱根駅伝」に際して、前回と同様に、「湯河原みかん」の消費拡大と湯河原温泉のPRを兼ねて、「湯河原みかん」を出場校に送りましたが、さらに今年は、1月2日に往路のゴール付近の芦ノ湖湖畔で、「湯河原みかん」と観光パンフレットの配布も行います。芦ノ湖と湯河原温泉が、30分足らずの距離にあることを広く知っていただくことで、箱根を訪れた方が湯河原へ周遊し、また、箱根に遊びに行く方が湯河原にお泊りになる。そのようなお客様が、たくさん現れてくれることを願っております。

私が町政に取り組む中で、勇気づけられることのひとつに、ボランティアの方々のご活動がでございます。ボランティアの方々には、様々な分野で、行政だけでは埋め尽くすことができないすき間を補っていただいております。町にとってなくてはならない存在です。その活動する姿を日々の中で目にしたときには、大きな力をいただいていると感じております。

さらなる町政の推進のために、旧年にも増しての、ご支援、ご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。

新しい年が、皆様の笑顔があふれる年となりますよう、心からお祈り申し上げます。